【様式2】

【法政大学】
留学生以外

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑥の申請要件について、満たしている項目を確認しました。（＊項目のチェック漏れにご注意ください。）

要件チェック項目	チェック欄（レ）	金額（年額）
①家庭から多額の仕送り（親が学費を支払っている場合には学費も含む）を受けていない ※1 年生は家庭からの仕送り予定額、2 年生以上は 2019 年度の仕送り年額を記載すること		万円
②自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない		
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。※1 年生はアルバイトでの収入予定額、2 年生以上は 2019 年度のアルバイト収入額を記載すること		万円
④家庭（両親）の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない **減収前（2019 年）の年収** 様式 1 に添付する 2019 年度源泉徴収票・確定申告書か令和 2 年度の所得証明書に記載の金額を記入してください。 給与収入等の方は収入金額、自営業の方は所得金額。万円未満は切り捨て。 無収入の場合は 0 万円と記入。 **社会人学生でない場合：父［　　万円］　母［　　万円］** **社会人学生の場合　：本人［　　万円］　配偶者［　　万円］**		
⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入（雇用調整助成金による休業補償を含む。）が大幅に減少（前月比 50%以上）している		
⑥既存制度について以下の**いずれか**を満たす		
1）高等教育の修学支援新制度（以下「新制度」）の第Ⅰ区分の受給者		
2）新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が可能な者にあっては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
3）新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
4）新制度の対象外であって、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
5)要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者 **利用又は利用を予定している奨学金名［　　］**		

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和　　年　　月　　日

学校名　法政大学　　**学部/研究科名**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学生証番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署　名:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿